

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

② 施設・事業所情報

名称：久良岐保育園	種別：児童分野 保育所	
代表者氏名：園長 内田 礼子	定員（利用人数）：121 名	
所在地：〒232-0063 神奈川県横浜市南区中里3丁目23番1号		
TEL：045（731）5994	ホームページ： https://www.kurakihouikuen.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 1951年8月4日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 久良岐母子福祉会		
職員数	常勤職員： 16 名	非常勤職員 20 名
専門職員	（専門職の名称）園長 1名	
	保育士 23名	調理師 3名
	栄養士 2名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室 6	園庭・中庭／ランチルーム／図書コーナー／一時保育室／延長保育室／事務室・職員室／給食室／屋上プール／倉庫など

③理念・基本方針

法人理念 「強く 正しく 明るく」
保育理念 「わたしが好き ともだちが好き 自然が好き」
基本方針
① 利用者の人権を常に尊重し、サービスの質の向上や環境改善に取り組む
② 地域の実情・利用者の必要に合わせ、公益的な事業を率先して行う
③ 高い専門性を持った良質な福祉人材を教育・育成する
④ 非営利法人として、透明性のある組織の運営を行い、地域に対して積極的な情報発信をおこない、地域に認められる活動、事業運営を行う

④施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人権尊重について、法人の人権研修や職員会議、コンプライアンスチェックリストなどで、職員が理解を深められるようにしています。 ・広い園庭と乳児専用の園庭があり、砂遊びや水遊び、季節の自然に触れることで、子どもの興味や好奇心、意欲を育てます。 ・散歩では、季節の草花や小動物、地域の人々と出会います。自分の足で歩くことで、生きる力を育てます。発見から興味、興味から意欲とつなげています。 ・子どものやってみたいという気持ちを受けとめ体験の機会を作っています。 ・子どもが大好きな遊びを見つけ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを重ねていけるよう、

環境構成をしています。

- ・音楽指導、和太鼓指導、体育指導を取り入れています。
- ・公園愛護会のお手伝いとして花の苗を植えたり、地域のお祭りで5歳児が和太鼓を披露したりするなど、地域との関係を大切にしています。園庭を開放し地域の防災訓練を実施しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年6月7日（契約日）～ 2020年3月13日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成25年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

◆子どもが主体的に活動できる環境構成
園は、子どもが主体的に活動できるよう、物的環境、人的環境を整えています。乳児は、遊び、食事、着替えなどの機能別の空間を確保し、子どもが生活の流れを理解し、毎日の繰り返しの中で無理なく基本的生活習慣を身に付けられるようにしています。0・1歳児はゆるやかな担当制をとり、特定の保育士との愛着関係を築き、子どもが安心して生活できるようにしています。
保育室は、子どもの年齢や発達に応じて遊具やコーナーが用意されていて、子どもが自由に遊びを選び、一人であるいは友だちと一緒に主体的に活動できるようになっています。広々とした園庭でも思いっきり身体を使って好きな遊びをすることができます。
保育士の見守りのもと、子どもたちは自分から好きな遊びを選び、自由な発想で遊びを広げ、元気いっぱい園生活を過ごしています。

◆子どもの人権を尊重した保育の実践
子どもを尊重した保育の実施について倫理綱領を策定し、法人の人権研修や職員会議等で職員に周知しています。職員は、倫理綱領に基づくコンプライアンスチェックリストを用いて毎週自己点検し、クラス会議や職員会議で具体的な事例を挙げて確認しています。保育士は、子どもの言葉や表情、仕草など小さなサインも見逃さないように努めて子どもの気持ちを汲み取り、子どもの気持ちに寄り添っています。着替えなどの時も、子どものやりたいという気持ちを尊重し、じっくりと待っています。

◆地域との連携
園のある地域が子どものふるさととなるよう、地域との連携に力を入れています。子どもたちは散歩で地域住民と挨拶を交わしたり、公園愛護会の人たちと花の苗を植えたりし、地域住民と交流しています。地域への子育て支援事業として「わらべうた」「みずあそび」などを実施するほか、一時保育、育児相談も行なっています。また、地域担当職員がいて、野菜を育てて地域住民のこども食堂に提供したり、町内会のイベントに参加したりしています。また、地域の防災訓練に園庭を提供するなど、保育事業にとどまらず広く地域に貢献しています。

◇改善を求められる点

◆職員の運営の一員としての意識を高めていくことが期待されます
法人の全体会議、階層別研修、職員会議等で事業計画について説明し、職員と園の方向性を共有できるようにしていますが、一般職員が運営の一員としての意識を持つまでには至っていません。今後も風通しの良い職場作りに向けて取り組んでいかれるこ

とが期待されます。

◆さらなるマニュアルの整備が期待されます

園は各種マニュアルを作成していますが、整備されていないものや、見直しが十分でないものがあります。メンター制によるOJTが行き届いており、標準的な業務が周知されていますが、次世代に園の良い取組を引継ぎ、園の取組の透明性を高めるためにも、マニュアルのさらなる整備が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

約 2 年に及ぶ久良岐母子福祉会館の改築が終り、新しい環境での組織運営と保育を問われる受審となりました。長い改築工事期間を仮園舎で過ごし、「環境は変わっても保育はブレない」を合言葉に、あらためて「保育理念と保育環境」「保育指針」等について園内研修を重ね、職員間のディスカッションも盛んになっておりました。評価結果を見て思うのは、それらの時間と取組みにつながる「今」があらわされていたという事です。組織や保育は突然そこに現れ完成するのではなく、子どもと保護者、地域との関係性や自然環境、社会の変化の中で理念を軸として実践していくものだと再確認することもできました。

又、特に評価が高い点として 2 番目に挙げられたのが、子どもの人権の尊重に関するものだったことも、これまでの成果としてうれしく受けとめています。ありがとうございました。

久良岐保育園 園長 内田礼子

⑧第三者評価結果

別紙 2 のとおり